

滋賀県立高等学校再編計画の実施状況について

1	総括	P 3
2	実施状況（概要）	P 4
3	再編実施計画の「再編の具体的な方策」の実施状況	
3-1	新しいタイプの学校の設置	P 12
3-2	統合による新しい学校の設置	P 13
3-3	地域に根ざした学校づくり	P 15
3-4	職業系専門学科の改編等	P 16
3-5	総合学科の充実	P 17
3-6	定時制課程の見直し	P 17
3-7	その他教育内容の充実等	P 18
4	各地域の再編の実施状況	P 19
5	関係資料	
5-1	策定までの経緯	P 20
5-2	再編対象校の入学者選抜状況	P 21
5-3	再編実施計画の年度別進行状況	P 22
5-4	県立高等学校研究指定校一覧表	P 24
5-5	部活動の状況	P 32
5-6	滋賀県立高等学校再編計画に基づく取組状況調査結果	P 38

1 総括

平成24年12月に再編計画を策定し、基本計画の計画期間を概ね10年として魅力と活力ある学校づくりを実施してきた。

標準とする学校規模を1学年あたり概ね6学級から8学級とし、地域ごとの生徒数の推移を見据えつつ、標準を下回る規模の学校が多くを占める地域において、学校の統合を行い、地域全体の学校活力の維持向上を図った。

統合により開校した彦根翔西館高校は、「探究（普通）系列」「スポーツ科学系列」「家庭科学系列」「会計ビジネス系列」「情報ビジネス系列」の5つの系列を持つ総合学科の高校として、開校以来、県内の広い範囲から入学者を集めている。また、同じく長浜北高校は、8割以上の生徒が部活動に加入し活動するとともに、卒業生の約7割が大学に進学する湖北地域の中核的普通科高校となっている。

学校統合により、子ども達の社会性が涵養できるとともに、部活動の活性化、充実を図ることができた。

一方、計画策定時における地域の理解やコンセンサスを得ることに課題があった。

その他、再編の具体的な方策に記載のあった、「新しいタイプの学校設置（能登川高校の改編）」「地域に根差した学校づくり（信楽高校の改編）」「職業系専門学科の改編等」「総合学科の充実（長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置）」「定時制課程の見直し」については、再編のねらいについて、一定達成できた。

また再編計画では、上記の再編の他に、「全ての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた魅力ある学校づくりに取り組みます。」としており、この間、全ての県立高校において、国や県の研究指定も活用しながら、魅力と活力ある学校づくりに取り組んだ。

令和2年1月に実施した県立高校長対象の調査では、92%の学校が、魅力と活力ある学校づくりが進んだと回答している。「地域との連携」や「授業の工夫」、「大学や企業との連携」が進んだと回答した学校が多く、学校外の教育資源も生かした魅力と活力ある学校づくりが、一定進展した。

一方、中学校長を対象としたこれからの滋賀の県立高校の在り方に関する意見聴取では、「オンリーワンの高校、その高校ごとの特色をもっと前面に出した学校づくりを進めていく必要がある。」や「各高校の魅力・特徴は、特に『普通科』である場合伝わりにくく、横並び的なものとして映ってしまっている。」といった意見があり、普通科高校を中心として、今後も更なる特色化、魅力化を継続して進めていく必要がある。

また、将来的に生徒数が大きく減少すると見込まれる地域においては、学校規模の更なる小規模化が進むと考えられるため、それらの地域における高校の魅力化策についても検討していく必要がある。

2 実施状況（概要）

【滋賀県立高等学校再編計画の具体的な方策の実施状況（概要）】

学校	再編内容	ねらい
能登川 能登川（定）	新しいタイプの 学校設置 （全定併置 総合単位制）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習のニーズに対応 ・様々な学習歴を持つ生徒の「学び合い」
彦根翔西館	学校統合 （彦根西＋ 彦根翔陽）	<ul style="list-style-type: none"> ・普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置 ・主体的な学習を促す多様な学びの充実 ・多様な生徒集団のもと、人間関係形成能力や社会性の育成
長浜北	学校統合 （長浜＋ 長浜北）	<ul style="list-style-type: none"> ・湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ中核的な普通科単独校を設置 ・グローバル社会に生きる国際人を育成するための英語教育を展開 ※中高一貫教育校設置については、P8参照
信楽	2学級の 総合学科に改編	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びを提供し生徒の進路希望等に応じた教育を行う ・地域の教育資源を活用した学習等を取り入れた魅力ある学習活動を展開し、学校活力を向上 ・県外からの入学生を募集 ※信楽高等学校の検証については、P9参照
長浜農業 湖南農業 八日市南	農業学科の 小学科改編	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に変更 ・地域の特色を生かし、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化、大規模経営などの学習内容の充実を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成
瀬田工業 彦根工業 八幡工業	工業学科の 小学科改編	<ul style="list-style-type: none"> ・細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に整理 ・化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直しにより専門学科としての教育内容の充実を図る。
瀬田工業 （定）	学校統合 （瀬田＋瀬田工 業(全)）	<ul style="list-style-type: none"> ・全定併置の工業学科として両校のノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る

現状と課題
<p>◎定時制昼間部では、入学後に不登校傾向が改善されるケースが見られている。また、入学者の多くが3年間で卒業できている。</p> <p>◎全日制と定時制昼間部の生徒がともに履修できる科目を設定し、学び合いが実現。</p> <p>◎学園祭や校外学習で全日制と定時制昼間部が連携。</p> <p>◎高大連携講座や高卒程度認定試験の合格科目の単位認定。</p> <p>△定時制夜間部は単独扱いになる傾向がある。</p> <p>※校舎増築</p>
<p>◎「探究（普通）系列」「スポーツ科学系列」「家庭科学系列」「会計ビジネス系列」「情報ビジネス系列」の5つの系列を持つ総合学科の高校として開校。</p> <p>◎開校以来、県内広い範囲から入学者を集め、募集定員を充足できている。</p> <p>※校舎増築</p>
<p>◎卒業生の約7割が大学に進学し、湖北地域の中核的普通科高校となっている。</p> <p>◎全校生徒が取り組む英語教育（学校設定科目「アクティブイングリッシュ」）を展開。</p> <p>※新校舎建築</p>
<p>◎信楽焼の伝統工芸士による授業、県立陶芸の森での実習、地元企業での就業体験等、地域の教育資源や人材を活用した教育を展開している。また、地元の要請に応じて陶器まつりのポスター作成等、地域と連携した取組も行っている。</p> <p>◎全国募集で意欲ある生徒が毎年2～5名入学している。</p> <p>△概ね80人の募集定員を充足できているものの、今後も県内外の中学校へのPR活動などで、信楽高校の魅力をさらに発信していく必要がある。</p>
<p>◎3校とも各学科の特色を生かした地域連携の取組を進めている。地域連携の強化により、地域からの評価も高まり、生徒の自尊感情や自己有用感を高めることにつながっている。</p> <p>△将来、農業関連に就業しようと入学してくる生徒は3割ほどであり、農業の担い手としての志望者を増やすことが必要。</p> <p>△学校からは教育内容充実のために施設設備の充実を求める声がある。</p>
<p>◎小学科を統合した電気科は、電気系と情報系の2つの類型を設け、資格取得等の指導の充実を図っている。</p> <p>△学校からは教育内容充実のために施設設備の充実を求める声がある。</p>
<p>◎全日制併置の夜間定時制として、校務運営の工夫が図られている。2年次から機械類型と電気類型の2つの類型の教育課程としている。</p> <p>△生徒の学習意欲を喚起するとともに、きめ細かな指導ができるよう工夫し、基礎学力の定着に努める必要がある。</p>

学校	再編内容	ねらい
長浜北星	総合学科に 福祉系列設置	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉系列は、進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができるようにする。 ・普通・工業・商業・福祉の多様な学びの系列で編成する総合学科高校として教育内容の充実を図る。
長浜北星 (定)	総合学科へ改編	<ul style="list-style-type: none"> ・転編入学や3年での卒業を容易にするなど、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育を推進

【県立高等学校の魅力ある学校づくり】

全ての県立 高等学校		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の進展、地域や産業界の要請などを踏まえつつ、生徒自らの興味・関心や進路希望等に応じて、学びたい教科や科目等を学習し、将来の生活や職業に役立つ知識・技能を積極的に学ぶことができるよう、全ての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた魅力ある学校づくりに取り組みます。(滋賀県立高等学校再編基本計画 (P6))
---------------	--	---

現状と課題

◎福祉系列には、介護福祉国家資格の取得を目指す介護福祉類型と保育や介護の基本を学ぶ生活福祉類型の2つの類型を設置。介護福祉類型は、卒業生のほとんどが介護福祉士の国家資格に合格。生活福祉類型は児童福祉や幼児教育分野への進学を目指す生徒が多い。

△福祉人材育成について、福祉系列は一定役割を果たしており、今後もそのニーズはなくなるわけではないため、引き続きその役割を担っていく必要がある。

※実習棟新築

◎教育課程上の工夫により、一定数の生徒が3年間で卒業。

△今後も、学校生活を充実させる活動や、外国籍の生徒への日本語指導等の取組がさらに必要となる。

- ・92%の学校が、魅力と活力ある学校づくりが進んでいると回答（令和2年1月調査）
- ・「地域との連携」が進んだと回答している学校が最も多く、次いで「授業の工夫」、「大学や企業との連携」と回答した学校が多い。
- ・農業学科、工業学科、商業学科では全ての学校が「地域との連携」が進んだと回答
- ・普通科では、「授業の工夫」が進んだと回答した学校が最も多い。
- ・「授業の工夫」が進んだとの回答は、卒業生の10%以上が現役で国公立大学に進学する普通科高等学校で割合が高いが、卒業生の20%以上が就職する普通科高等学校との差は6ポイント
- ・10%以上が現役で国公立大学に進学する普通科高等学校は、「進路指導における実績」が進んだと回答している学校が多く、卒業生の20%以上が就職する普通科高等学校は、「地域との連携」が進んだと回答している学校が多い。
- ・上記以外の普通科高等学校では、「大学や企業との連携」「地域との連携」が進んだとの回答が多く、授業だけでなく、地域や大学、企業との連携も学校の魅力づくりの柱の一つになっている。
- ・1学年の学級規模が3学級あるいは4学級の普通科高等学校では、「授業の工夫」「地域との連携」が進んだとの回答が多い。1学年3学級を学校の努力で4クラス展開して全ての授業で少人数授業ができるよう工夫している学校もある。また、「部活の取組」が進んだとの回答も多く、小規模な学校であるが、体育コースや部活動を特色としてアピールしている学校が多い。

【県立中高一貫教育校設置について】

1. 再編計画（H24.12 策定）の記載

再編基本計画

「新たな中高一貫教育校を設置することは、地域の中学校の学級編成などに及ぼす影響も大きいと考えられることから、当面は既設3校としながら、再編による生徒の動向を見据えつつ検討を行っていきます。」

再編実施計画

「中高一貫教育校については、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置します。」

※ 新校：長浜北高校

2. 設置状況

現在、長浜北高等学校へ中高一貫教育校の設置はしていない。

3. 長浜北高等学校の運営実績等

(1) 卒業後の進路状況

- 卒業生の約7割が大学進学し、湖北地域の中核的な普通科校として一定の成果は出ている。

＜卒業後の進路状況＞ (人)

卒業年	卒業生	大学	短大	専門学校等	就職	その他
H31.3	314	201(20) 64.0%	18 5.7%	72 22.9%	7 2.2%	16 5.1%
R 2.3	309	221(12) 71.5%	19 6.1%	63 20.4%	2 0.6%	4 1.3%

※()内は国公立大学への進学者数を表す。

(2) 入学者の状況

- 湖北地域最大規模の普通科高校として概ね定員充足できているものの、入学者の大半は長浜市を中心とした湖北地域が占めている。

＜5年間の入学者の中学校等所在地＞ (人)

入学年度	湖北地域			湖東地域	その他	計
	長浜市	米原市				
H28	1,458	1,179	279	38	19	1,515
R2	96.2%	77.8%	18.4%	2.5%	1.3%	100.0%

(3) 湖北地域の児童生徒数

- 今後の湖北地域の小中学校の児童生徒数は減少傾向となっている。

＜湖北地域の小中学校等の生徒数＞ (人)

	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
生徒数	1,526	1,454	1,495	1,449	1,422	1,421	1,407	1,438	1,360
前年差		▲ 72	41	▲ 46	▲ 27	▲ 1	▲ 14	31	▲ 78
中3との差		▲ 72	▲ 31	▲ 77	▲ 104	▲ 105	▲ 119	▲ 88	▲ 166

※R1.5.1現在における生徒数（義務教育学校の生徒数を含む）

参考 ＜湖北地域の公立中学校等の1学年生徒数＞

生徒数 (R2 中学3年)	～49人	50～99人	100～149人	150人～
中学校数	8校	6校	3校	2校

⇒ 長浜北高等学校は湖北地域からの入学者がほとんどであること、湖北地域の小中学校等の児童生徒数は減少傾向にあることを鑑みると、地域の中学校に影響を及ぼすものと考えられ、現在、長浜北高等学校に中高一貫教育校を設置していない。

【信楽高等学校について】

1. 再編実施計画（H24.12 策定）

「通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高等学校を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科へ改編します。また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。こうした改編を行った後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。」と記載

※ H29年3月：1期生卒業

2. 地域の支援について

- 甲賀市設立の産学連携組織「信楽高等学校地域支援協議会」を中心に、信楽高校の活性化のための具体的支援策や全国募集に向けた取組を実施（財源は、甲賀市からの補助金等を活用）

3. 全国募集について

- 「信楽地域の伝統産業に関わるセラミックやデザインに強い興味・関心があり、将来に対する目的意識が明確な者」（入学者選抜要項選抜）を、5名を限度に全国募集を実施

4. 成果と課題

- 2学級の総合学科に改編し、学校の努力や信楽高等学校地域支援協議会のサポートから概ね80人の募集定員は充足し、地域の協力を得た教育活動は実施できている。
- 全国募集で入学した生徒も、セラミック、デザインに興味をもって入学し、意欲的に信楽焼に関する学習に取り組んでおり、進路先として、芸術系の大学等に進学している。
- 今後の生徒数推移から80人の募集が厳しい状況が見込まれるため、より一層、魅力化を図っていく必要がある。

<入学者選抜の状況>

(人)

入学年度	推薦選抜	全国募集	一般選抜	二次選抜	入学者計
H26	31/32→31	5/ 5→ 5	46/44→44	—	80 (充足)
H27	28/32→28	4/ 5→ 4	55/48→48	—	80 (充足)
H28	29/32→29	4/ 5→ 4	42/47→42	8/ 5→ 5	80 (充足)
H29	24/32→24	2/ 5→ 2	31/54→31	2/23→ 2	59 (▲21)
H30	32/32→32	2/ 5→ 2	49/46→46	—	80 (充足)
H31	19/32→19	2/ 5→ 2	37/59→37	7/22→ 7	65 (▲15)
R 2	23/32→23	5/ 5→ 5	45/52→45	0/ 7→ 0	73 (▲ 7)

(受検者数/定員→入学者数)

【全県立高校の学校規模推移】

【平成24年度】 5学級以下 21校

再編前	学級	校数	大津地域	湖南地域	甲賀地域	湖東地域	湖北地域	湖西地域
	11	1	1 膳所					
	10	1	1 東大津					
	9	1	1 石山					
	8	3	1 大津	1 草津東		1 彦根東		
	7	5	2 瀬田工業 大津商業	2 玉川 栗東		1 八幡		
	6	14	1 北大津	3 草津 守山 国際情報	3 水口 甲西 水口東	4 河瀬 八日市 彦根工業 八幡工業	1 米原	2 高島 安曇川
	5	9	1 堅田	2 守山北 野洲		2 彦根翔陽 八幡商業	4 長浜 長浜北 虎姫 長浜北星	
	4	8		1 湖南農業	1 石部	3 彦根西 能登川 日野	3 伊吹 伊香 長浜農業	
	3	4			2 甲南 信楽	2 愛知 八日市南		
平均	262	46	8校	9校	6校	13校	8校	2校
学級数	→ 5.7		7.9	6.0	4.7	5.2	4.8	6.0

【平成28年度】 5学級以下 16校

再編後	学級	校数	大津地域	湖南地域	甲賀地域	湖東地域	湖北地域	湖西地域
	11	1	1 膳所					
	10	2	2 東大津 石山					
	9	2		1 草津東		1 彦根翔西館		
	8	5	1 大津	1 玉川		2 彦根東 八日市	1 長浜北	
	7	5	2 瀬田工業 大津商業	1 守山	1 甲西	1 八幡		
	6	13		3 草津 栗東 国際情報	2 水口 甲西 水口東	4 河瀬 彦根工業 八幡工業 八幡商業	3 米原 虎姫 長浜北星	1 高島
	5	3	2 堅田 北大津					1 安曇川
	4	5		3 湖南農業 守山北 野洲		1 日野	1 伊吹	
	3	7			2 甲南 石部	3 能登川 愛知 八日市南	2 伊香 長浜農業	
	2	1			1 信楽			
平均	260	44	8校	9校	6校	12校	7校	2校
学級数	→ 5.9		7.9	6.0	4.5	5.8	5.1	5.5

【令和2年度】 5学級以下 23校

現在	学級	校数	大津地域	湖南地域	甲賀地域	湖東地域	湖北地域	湖西地域
	11	0						
	10	1	1 膳所					
	9	3	2 東大津 石山	1 草津東				
	8	4	1 大津	1 玉川		2 彦根東 彦根翔西館		
	7	6	2 瀬田工業 大津商業	1 守山		2 八日市 八幡	1 長浜北	
	6	7		2 草津 栗東 国際情報	2 水口 甲西 甲西	2 彦根工業 八幡商業	1 米原	
	5	9	1 堅田	2 栗東 守山北 野洲	1 水口東	2 河瀬 八幡工業	2 虎姫 長浜北星	1 高島
	4	6	1 北大津	2 野洲 湖南農業		1 日野	1 伊吹	1 安曇川
	3	7			2 石部 甲南	3 能登川 愛知 八日市南	2 伊香 長浜農業	
	2	1			1 信楽			
平均	245	44	8校	9校	6校	12校	7校	2校
学級数	→ 5.6		7.4	6.0	4.2	5.4	4.7	4.5

(滋賀県立高等学校再編基本計画 P8)

ア 標準とする学校規模

高等学校全日制課程の学校規模については、県立学校のあり方検討委員会の報告を踏まえ、多様な科目の開設など幅広い教育課程の編成、生徒が切磋琢磨する機会の確保、学校行事・部活動など集団活動の円滑な実施など様々な要素を勘案して、1学年あたり概ね6学級から8学級を標準とします。

イ 学校の統合等

現在、通学区域が全県一区制のもとであっても、普通科で8割程度の中学生が地域の高等学校に進学する状況にあることなどから、地域ごとの生徒数の推移を見据えつつ、標準を下回る規模の学校が多くを占める地域において、学校の配置バランス、学科の特性、地理的条件などの地域性、学びの多様性の確保等を考慮しながら、学校の統合等を行い、地域全体の学校活力の維持向上を図ります。

(平成24年度12月定例会議 教育長答弁)

Q 学校規模においては、今後どのように考えていくのか、高校再編計画の全体像としての目的到達点について、伺う。

A 次に、2点目の学校規模の全体像としての目的到達点についてのご質問でございますが、学校規模については、概ね1学年6学級から8学級を標準としていますが、これはあくまで標準であり、地域や学科の特性等を踏まえ、必ずしも例外なく6学級から8学級でなければならないと考えているものではありません。

高校再編の目的到達点は、先ほども申し上げましたとおり、社会の変化に対応できる教育課程を充実するとともに、生徒が自らの興味・関心、進路希望等に応じた学習ができたり、学校行事や部活動などの取組を活発に行うことができるなど、県内のどの地域においても、本当に行きたいと思える高校を、生徒が主体的に選択できる状況を創り出すことにあります。

従って、その到達点につきましては、そのときそのときの状況や社会の変化に対応しながら学校規模も含め、子どもたちにとって最もよい教育環境を整備するというものであり、10年という基本計画の期間を設定しているものの、不断に見直しながら、常によりよいものになるようにすべきものと考えております。

こうしたことを踏まえながら、現時点においては、この高校再編計画を早期に策定し、その推進に全力を傾注してまいりたいと考えております。

3 再編実施計画の「再編の具体的な方策」の実施状況

3-1 新しいタイプの学校の設置

能登川高校の改編（H26全日制・定時制併置の総合単位制高校設置）

◇全日制課程普通科を学年制から単位制にするとともに、新たに定時制課程（単位制）普通科を設置し、全日制・定時制併置の総合単位制高等学校とする。

（1学年 全日制3学級 定時制昼間部1学級 定時制夜間部1学級）

<ねらい>生徒の多様な学習のニーズに対応した柔軟な学びのシステムにより、生徒の主体的な科目選択による学習や、様々な学習歴を持つ生徒の「学びあい」を通して、互いの人間性を高め、自己実現に向けて挑んでいく意欲をはぐくむ教育の推進を図る。

【全日制入学者】

	定員	大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	県外等	計
H26	120				119			1	120
H27	120				120				120
H28	120		3		116			1	120
H29	120		5		110				115
H30	120	1	6	1	110	2			120
R1	120	1	4		114	1			120
R2	120		7		112	1			120

【定時制昼間部入学者】

	定員	大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	県外等	計
H26	40	1	2	1	27	5		3	39
H27	40		5		29	2		4	40
H28	40		1	1	35	2		1	40
H29	40		6		29	4		1	40
H30	40		5		33	1		1	40
R1	40		7		29	3		1	40
R2	40		7	2	25	4		1	39

【定時制夜間部入学者】

	定員	大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	県外等	計
H26	40	1	3	1	28			5	38
H27	40		3		30			4	37
H28	40		3		28			4	35
H29	40		2		20	2		2	26
H30	40		1		18			2	21
R1	40		1		20			1	22
R2	40		2		9	1		2	14

【学校の主な取組】

- ・全日制課程は1学年3学級120人を30人の4学級展開、定時制課程は20人の少人数授業による丁寧な学習指導を実施している。
- ・定時制課程昼間部は、午前（10:55～）の始業とし、全日制課程の開講科目の併修も受けられる教育課程としている。
（3年次の「選択科目（2単位）」（社会演習・数学B・音楽鍵盤・フードデザイン 劇表現・映像と表現・国際理解）
- ・全日制課程と定時制課程昼間部は行事や一部の部活動を合同で実施し交流を図っている。
- ・高大連携講座や高卒程度認定試験の合格科目の単位認定している。

◎成果 1

- ・全日制課程は、総合単位制として生徒の進路希望に対応した選択科目を多く設定しており、生徒のニーズに合わせた少人数指導ができ、中途退学する生徒が減るなど、落ち着いた学びができています。

◎成果 2

- ・定時制課程は、中学校で不登校を経験した生徒（昼間部 30 人、夜間部 20 人程度入学）であっても、少人数授業など丁寧な学習指導により落ち着いた学校生活を過ごし、入学後に不登校傾向が改善できている。特に、定時制課程昼間部は、中学校の進路指導での新たなニーズとして、能登川駅に近接する利便性の良い立地であることもあり、湖東地域だけでなく湖南地域や湖北地域の中学校からの入学者が多くなっている。

△課題 1

- ・全日制と定時制昼間部の間では、共通して履修できる選択科目の設置や行事の共同開催の取組があるが、定時制夜間部は単独扱いになる傾向がある。

3-2 統合による新しい学校の設置

学校規模が小規模化していた湖北地域、湖東地域で統合を実施した。統合前の準備は両校とも統合準備室を開設し、教育方針の策定、教育課程、校名、校歌などに係る事務を行った。統合移行期の2年間は、授業は違っても文化祭などの行事や部活動を通して、それぞれの学校が特色を活かしながら高め合うように学校運営し、3校の生徒が打ち解け、切磋琢磨する学校生活となった。

彦根翔西館高校設置（H28彦根西高校と彦根翔陽高校の統合）

◇彦根西高校（普通科・家庭学科）と彦根翔陽高校（総合学科）を統合し、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置する。（1学年9学級）

<ねらい> 自己実現に向けて主体的な学習を促す多様な学びの充実を図るとともに、多様な生徒集団のもと、人間関係形成能力や社会性の育成を目指す教育を推進する。

【入学者】

	定員	大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	県外等	計
H28	360	0	6	1	319	31	0	3	360
H29	360	0	12	3	310	34	0	1	360
H30	360	0	8	1	307	44	0	0	360
R1	320	0	5	1	286	26	1	1	320
R2	320	0	10	0	267	42	0	1	320

【学校の主な取組】

- ・5つの系列（探究、スポーツ科学、家庭科学、会計ビジネス、情報システム）の総合学科として開校し、生徒一人ひとりの進路に応じたきめ細かな授業を行い、生徒は大学進学や資格取得などを目指して学習している。
- ・スポーツ科学系列では、旧彦根西高校の体育施設も活用した体育学科並みの実技授業がある教育課程としている。

◎成果 1

- ・統合前の4学級、5学級から学校規模が大きくなり、生徒数、教員数も増え、部活動で全国大会、近畿大会に多数出場するなど学校活力は向上している。
- ・開校後、常に募集定員を充足できており、湖南地域など広い範囲からの入学者がある。

◎成果 2

- ・新設のスポーツ科学系列は40名程の選択者がおり、競技力の向上やスポーツ系大学への進学などの生徒のニーズに対応している。

△課題 1

- ・今後5つの系列の魅力化をさらに進めるため、新しい教育内容の検討や施設設備の充実が必要となる。

(新校)長浜北高校設置 (H28 長浜高校と長浜北高校の統合 H30 校舎移転)

◇長浜高校(普通科・福祉学科)と長浜北高校(普通科)を統合し、普通科単独校を設置(福祉学科は廃止し長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置)する。(1学年8学級)

<ねらい> 湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ中核的な普通科単独校を設置する。グローバル社会に生きる国際人を育成するための英語教育を展開する。

【入学者】

	定員	大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	県外等	計
H28	320	0	1	0	5	311	2	1	320
H29	320	0	0	0	5	313	0	1	319
H30	320	0	0	0	11	300	3	2	316
R1	280	0	1	0	6	270	1	2	280
R2	280	0	0	0	11	264	4	1	280

【学校の主な取組】

- ・地域の中核となる普通科高校を目指し、英語教育では、全ての生徒に週2時間、ALTを活用した少人数形式の授業「アクティブ・イングリッシュ」があり、生徒は英語で考え、英語を使ってコミュニケーションし意欲的に学習している。
- ・平成28年度から県下初の県立高校のコミュニティ・スクールに指定し、地域や社会に学ぶ実践活動などを実施し、生徒が多様な人との出会いを通じて地域貢献の意識を高めている。

◎成果 1

- ・湖北地域で最大規模の学校で、新校舎のデザインや快適な学校生活の魅力、英語教育やコミュニティ・スクールの特色等が中学生に浸透し、概ね募集定員を充足できている。部活動加入率(約85%)も高く、生徒の満足度は高い。

◎成果 2

- ・卒業後の進路状況として、約7割が4年制大学に進学(R2.3卒309人中221人、H31.3卒314人中201人)しており、虎姫高校と同様に湖北地域の中核的普通科単独校となっている。

3-3 地域に根ざした学校づくり

信楽高校の学科改編（H26普通科、セラミック科、デザイン科を総合学科に改編）

◇普通・セラミック・デザインの3系列からなる総合学科（2学級）に改編する。セラミックやデザインの学習を特色として県外から入学生を募集（5人限度）する。

〈ねらい〉選択科目の設定の工夫により多様な学びを提供し、生徒の進路希望等に応じた教育を行う。地場産業関係者、地元陶芸家、大学、県機関、地域の有識者等の協力・連携によって、地場産業である信楽焼を中心とした地域の教育資源を活用した学習等を取り入れた魅力ある学習活動を展開し、学校活力の向上を図る。

※改編後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討するとされている。

【入学者選抜の状況】

入学年度	推薦選抜	全国募集	一般選抜	二次選抜	入学者計
H26	31/32→31	5/ 5→ 5	46/44→44	—	80（充足）
H27	28/32→28	4/ 5→ 4	55/48→48	—	80（充足）
H28	29/32→29	4/ 5→ 4	42/47→42	8/ 5→ 5	80（充足）
H29	24/32→24	2/ 5→ 2	31/54→31	2/23→ 2	59（▲21）
H30	32/32→32	2/ 5→ 2	46/49→46	—	80（充足）
R1	19/32→19	2/ 5→ 2	37/59→37	7/22→ 7	65（▲15）
R2	23/32→23	5/ 5→ 5	45/52→45	0/ 7→ 0	73（▲ 7）

【学校の主な取組】

- ・信楽焼の伝統工芸士による授業、県立陶芸の森での実習、地元企業への就業体験、成安造形大学の出前授業など、地域の教育資源や人材を活用している。
- ・セラミック、デザイン系列の生徒は、地元の要請に応え陶器まつりのポスター作成、商品開発など、地域と連携した取組を行っている。
- ・全国募集（上限5人）を実施し、セラミック、デザインに興味をもつ生徒を受け入れている。卒業した生徒の半数以上が芸術系の大学や専門学校に進学している。生活面は、信楽高校地域支援協議会が宿舍支援等のサポートをしている。

◎成果1

- ・県下最小規模の1学年2学級の学校であるものの、信楽焼を中心とした地域の教育資源を活用した学校運営により、セラミック、デザインを学ぶ信楽高校の伝統が継承できている。

◎成果2

- ・全国募集で意欲ある生徒が毎年2～5人入学しており、卒業後、滋賀大学等でさらにデザイン等を学ぶ者も出ている。

◎成果3

- ・中学校で不登校の経験のある生徒や特別な支援を要する生徒も多い中、少人数の生徒、教員が力を合わせて、生き生きとした学校生活ができている。

△課題1

- ・概ね80人の募集定員を充足できているものの、今後も県内外の中学校へのPR活動などで、信楽高校の魅力をさらに発信していく必要がある。

3-4 職業系専門学科の改編等

農業学科小学科改編（H26長浜農業高校・湖南農業高校・八日市南高校学科改編）

- ◇長浜農業 生物活用・ガーデン・食品科学・環境デザイン各1学級→農業2・園芸1・食品1
 - ◇湖南農業 農業技術・園芸工学・食品化学・環境緑地各1学級→農業2・花緑1・食品1
 - ◇八日市南 農業技術・食品流通・緑地デザイン各1学級→農業1・食品1・花緑デザイン1
- <ねらい>中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化、大規模経営などの学習内容の充実を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成する。

工業学科小学科改編(H26 瀬田工業高校・彦根工業高校・八幡工業高校学科改編および集約)

- ◇瀬田工業 機械3学級・電気1・情報電子2・化学工業1→機械3・電気3・化学工業1
 - ◇彦根工業 機械2・電気1・情報技術1・建設1・環境化学1→機械3・電気2・建設1
 - ◇八幡工業 機械2・電気1・情報電子1・建築1・環境化学1→機械2・電気3・環境化学1
- ※ 集約 彦根工業建設科 + 八幡工業建築科 → 彦根工業建設科
彦根工業環境化学科 + 八幡工業環境化学科 → 八幡工業環境化学科
- <ねらい>細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成する。また、特色ある学校づくりの推進や化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直し等により、専門学科としての教育内容の充実を図る。

◎成果

<農業>

- ・3校とも各学科の特色を生かした地域連携の取組を進め、実習を通じたキャリア教育が魅力となり、概ね定員充足できている。
- ・地域連携の強化により、地域からの評価も高まり、生徒の自尊感情や自己有用感を高めることにつながっている。

<工業>

- ・小学科を統合した電気科は、電気系と情報系の2つの類型の教育課程を設け、資格取得等の指導の充実を図っている。

△課題

- ・将来、農業関連に就業しようとする入学してくる生徒は3割ほどであり、農業の担い手としての志望者を増やすことが必要。
- ・農業学科、工業学科ともに、教員の工夫した指導や丁寧な進路指導により、生徒の進路実現に取り組んでいるものの、学校からは、さらなる魅力化を図るために、施設設備の整備を求める声がある。

瀬田工業高等学校と瀬田高等学校の統合

- ◇同一敷地内に設置されている瀬田工業高校（全日制）と瀬田高校（定時制）を統合する。併せて、定時制課程の機械科と電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とする。
- <ねらい>全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る。

◎成果

- ・瀬田工業高校全日制と併置の夜間定時制として学校行事の配置や地域連携等の工夫が図られている。2年次から機械類型と電気類型の2つの類型の教育課程とし、職場見学や卒業生を招いた説明会実施するなどきめ細かな指導により進路実現につながっている。

△課題

- ・今後も、勤労の定着を図る指導改善に取り組み、電気工事士の資格取得など、生徒の学びをより一層支援していく必要がある。

3-5 総合学科の充実

長浜北星高校総合学科福祉系列を設置（H26系列追加）

- ◇全日制総合学科に福祉系列を設置する。
平成26年度長浜高校福祉学科を募集停止
平成28年度長浜高等養護学校を長浜北星高校校地に移転（長浜北星高等養護学校）

<ねらい> 介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改める。併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編する。普通・工業・商業・福祉の多様な学びの系列で編成する総合学科高校として、教育内容の充実を図る。

◎成果

- ・福祉系列には、介護福祉国家資格の取得を目指す介護福祉類型と保育や介護の基本を学ぶ生活福祉類型の2つの類型を設置し、生徒のニーズに対応している。
系列人数 H26 23人 H27 26人 H28 16人 H29 25人 H30 18人 H31 17人
- ・介護福祉類型は、目的意識の高い生徒が選択しており、夏季休業中の実習や地域の福祉施設での実習を通して、毎年、ほとんどの生徒が介護福祉士の国家試験に合格している。
- ・生活福祉類型は、1、2年次に福祉の基礎を学び、3年次に保育実習を実施しており、児童福祉や幼児教育分野へ進学できている。

△課題

- ・福祉人材育成について、福祉系列は一定役割を果たしており、今後もそのニーズはなくなるわけではないため、引き続きその役割を担っていく必要がある。

3-6 定時制課程の見直し

長浜北星高校定時制課程の学科改編（H26 商業科を総合学科に改編）

- ◇長浜北星高校の定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編する。
（定時制 1学年1学級）
<ねらい> 普通、商業の系列で編成する総合学科へ改編することにより、転編入学や3年での卒業を容易にするなど、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育を推進する。
- 彦根東高校定時制課程の廃止（H26 募集停止）
- ◇普通科の総合単位制高校を湖東地域に設置（能登川高校）することに伴い、彦根東高校の定時制課程（普通科）を廃止する。

◎成果

- ・4年間の学びである定時制課程において、長浜北星高校、能登川高校では3年間で卒業できる教育課程上の工夫により、一定数の生徒が3年間で卒業できている。
長浜北星高校定時制課程：総合学科に改編し定通併修、技能審査等の単位認定制度設定
能登川高校定時制課程：全日制課程との併修、午前授業の実施

△課題

- ・今後も、学校生活を充実させる活動や、外国籍の生徒への日本語指導等の取組がさらに必要となる。

3-7 その他教育内容の充実等

○理数や英語教育の充実と大学等との連携強化

理数教育先進校との学校間連携、しがグローバル人材育成事業による英語教育の推進、県内10大学や京都大学との連携を実施により、生徒の学習意欲の向上や教員の指導力の向上を図っている。

○地域資源を活かした教育活動の推進

地場産業や地元の人材など地域資源を活かした教育活動を実施し、取組を広報するなど学校の魅力づくりを図っている。

○ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進

特別な支援を要する生徒への支援を行うスタッフの配置、巡回チームや巡回相談員による校内研修で特別支援教育に対する理解を推進している。また、平成30年度より、高等学校における通級による指導を愛知高等学校に導入した。

○教職員研修の充実

総合教育センターでの研修や、各学校での授業公開、校内研修において教職員の資質向上を図られている。

【理数教育先進校】

※ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・・・将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う取組。現在、膳所高等学校・彦根東高等学校・虎姫高等学校が指定されている。

- (1) 彦根東高等学校 (H16～H18、H19～H23、H24～H28、H29～R3 4期目)
科学技術人材育成重点校 (H24～26)
- (2) 膳所高等学校 (H18～H22、H23～H27、H28～R2 3期目)
科学技術人材育成重点校 (H22～H25、H26～H27、H30～R2)
- (3) 虎姫高等学校 (H24～H28、H29～R3 2期目)

※ 理数科

- (1) 米原高等学校理数科 (S45～)
- (2) 膳所高等学校理数科 (H9～)

【京都大学との連携】

滋賀県教育委員会と京都大学は、大学および高等学校における教育の課題に対して連携し必要な対応を行うことにより教育・研究の充実、発展に資するため、平成25年5月9日に連携協定を締結した。令和元年度は連携指定校の生徒対象に、京都大学で特別講義とパネルディスカッションを実施した。

連携指定校：膳所高校、東大津高校、石山高校、彦根東高校、河瀬高校、虎姫高校
守山高校、水口東高校、安曇川高校、八日市高校、米原高校（11校）

【しがグローバル人材育成事業による英語教育の推進】

グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、本事業内に「教員研修部門」として英語教員ステップアップ事業、「授業改善部門」に英語発信力育成事業、そして「発展的取組部門」に高校生グローバルチャレンジプログラム等を設け、生徒の英語力および英語科教員の指導力の向上を図っている。全県的な取組で指定校は設けていない。

4 各地域の再編の実施状況

- 大津地域（大津市）
 - ・瀬田工業高校（全日制）と瀬田高校（定時制）を統合し、全日制課程工業学科の小学科を改編し、専門学科としての教育内容の充実を図っている。
 - ・理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
- 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）
 - ・湖南農業高校農業学科の小学科を改編し、都市近郊型農業を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の学習を通して、本県農業を担う資質と能力を育成している。
 - ・理数教育先進校と連携した理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
- 甲賀地域（甲賀市、湖南市）
 - ・信楽高校を総合学科へ改編し、多様な学びの機会を確保し生徒の進路希望等に応じた教育を行っている。また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や全国募集により県外の生徒を受け入れ、学校活力の維持向上等を図っている。
 - ・新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
- 湖東地域（彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡）
 - ・能登川高校に柔軟な学びのシステムを特色とする全日制・定時制併置の総合単位制高校を設置した。これに伴い、彦根東高等学校の定時制を廃止した。
 - ・彦根翔西館高校を学校統合により開校し、5つの系列からなる総合学科として、学校の教育力の向上と湖東地域全体の学校活力の維持向上を図っている。
 - ・八日市南高校農業学科の小学科を改編し、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、本県農業の担い手としての資質と能力を育成している。
 - ・彦根工業高等学校工業学科と八幡工業高等学校工業学科の小学科を改編するとともに、学校間での小学科の集約を行い、彦根工業高等学校は建設科、八幡工業高等学校は環境化学科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進め、専門学科としての教育内容の充実を図っている。
 - ・理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
- 湖北地域（長浜市、米原市）
 - ・（新校）長浜北高校を学校統合により開校し、実践的な英語力を身につける授業、活気ある学校行事や部活動を特色として、学校の教育力の向上と湖北地域全体の学校活力の維持向上を図っている。
 - ・長浜農業高校農業学科の小学科を改編し、広大な農場や施設設備を活用した園芸全般を学習する園芸科を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の学習を通して、本県農業の担い手としての資質と能力を育成している。
 - ・長浜北星高校に介護福祉士の国家試験合格を目指す福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として、学習内容の充実を図っている。
 - ・長浜北星高校定時制課程について、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できるよう、学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編している。
 - ・理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
 - ・再編実施計画では「（湖北地域）中高一貫教育校については、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置します」としている。
- 湖西地域（高島市）
 - ・理数教育先進校と連携した理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指している。
 - ※再編計画とは別に、「湖西地域県立高等学校魅力化方針」を策定し、令和3年4月入学から、安曇川高校では新系列の設置と普通科募集停止、高島高校では新学科「文理探究科」を設置し、魅力化を図る。

5 関係資料

5-1 策定までの経緯

年	月	経緯
H20	7	「県立学校のあり方検討委員会」設置（6回審議）→ H21.3 報告
H22	9	「第23期滋賀県産業教育審議会」→「職業学科のあり方について」答申
	8～11	「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた意見を聴く会」開催（9回）
H23	7	教育委員会において「滋賀県立高等学校再編計画（原案）」決定・公表
	7～8	県民への説明会等の開催（7か所）
	10	県議会の決議「……慎重な検討とともに生徒や県民への説明、理解を十二分に得るよう、強く求める。」
	11	教育委員会で計画策定を24年度に延期の方針を確認
H24	5～8	意見を聴く会（彦根市・長浜市・甲賀市 9か所）
	8	「第24期滋賀県産業教育審議会」→「福祉科教育のあり方について」答申
	10	「滋賀県立高等学校再編計画（案）」の公表
	10～11	再編計画（案）説明会の実施（県内12会場）、県民政策コメント
	12	教育委員会において「滋賀県立高等学校再編計画」を議決

5-2 再編対象校の入学者選抜状況

【学力検査確定出願倍率（二次選抜後の定員未充足人数）】

入試年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
能登川(普)	1.00	1.13	1.28	1.11	1.15	0.89(5)	1.22	1.07	1.11
能登川(定昼)	—	—	1.00	1.21	1.15	1.29	1.07	1.20	0.97(1)
能登川(定夜)	—	—	0.78	0.53(3)	0.55(5)	0.58(13)	0.43(18)	0.48(18)	0.38(25)
彦根西(普)	0.92(1)	1.24	1.05	1.09	—	—	—	—	—
彦根西(家)	0.98(1)	1.11	1.13	1.15	—	—	—	—	—
彦根翔陽	1.13	1.02	1.04	1.12	—	—	—	—	—
彦根翔西館	—	—	—	—	1.04	1.10	1.06	1.11	1.18
長浜(普)	1.05	0.99	1.06	0.98(2)	—	—	—	—	—
長浜北	1.03	1.04	1.05	0.97	—	—	—	—	—
(新)長浜北	—	—	—	—	1.03	0.98(2)	0.98(4)	1.03	1.07
信楽(普)	0.59(10)	0.52(12)	—	—	—	—	—	—	—
信楽(工業)	0.62(19)	0.76(12)	—	—	—	—	—	—	—
信楽(総合)	—	—	1.05	1.15	0.94	0.57(21)	1.07	0.63(15)	0.87(7)
湖南農業	1.15	1.23	1.36	1.23	1.26	1.46	1.18	0.98	0.99
八日市南	1.13	1.21	1.11	1.23	1.32	1.09	1.13	0.92	1.25
長浜農業	1.10	1.10	1.05	1.00	1.19	1.15	1.13	1.10	0.98
瀬田工業	1.38	1.18	0.97	1.14	0.99	1.06	1.01	0.95(0)	0.97(4)
彦根工業	1.09	1.21	1.04	1.13	1.11	1.10	0.96(3)	1.08	0.99(2)
八幡工業	1.22	1.14	1.05	1.04	0.97	1.06	0.91(0)	1.03	0.83(14)
長浜(福祉)	0.75(4)	1.00	—	—	—	—	—	—	—
長浜北星	1.06	1.12	1.01	0.97	1.01	0.96	1.05	1.13	1.03
清陵(昼)	0.75(4)	1.23	1.23	1.10	1.00	1.00(2)	0.80(6)	0.98(1)	1.05
清陵(転編)	1.05	0.90	0.78(8)	0.85(6)	0.43(22)	0.63(14)	0.43(22)	0.20(32)	0.40(23)
清陵馬場	0.85(7)	0.98(2)	1.18	0.95	0.83(7)	0.68(16)	0.80(9)	0.60(16)	0.93(4)
瀬田工(夜)	—	—	0.80(2)	0.83	1.05	0.45(22)	0.70(10)	0.58(16)	0.55(18)
瀬田(機械)	0.40(18)	0.48(16)	—	—	—	—	—	—	—
瀬田(電気)	0.43(19)	0.40(20)	—	—	—	—	—	—	—
彦根東(定)	0.50(10)	0.40(8)	—	—	—	—	—	—	—
彦根工業(定)	0.78(3)	0.43(6)	0.35(10)	0.80	0.95(1)	0.80(4)	0.38(24)	0.48(17)	0.25(30)
長浜北星(定)	0.43(15)	0.53(16)	0.45(19)	0.38(22)	0.45(9)	0.43(16)	0.33(28)	0.45(22)	0.45(22)

5-3 再編実施計画の年度別進行状況

	対象校等	平成 25 年度	平成 26 年度
1	彦根翔西館高校 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合	開設準備室(H25.1~設置) 彦根統合新校設置懇話会(5回) 校名公募、決定	開設準備室 彦根統合新校設置懇話会(4回) 校章デザイン募集 制服決定 校舎改築工事
2	長浜北高校 長浜高校と長浜北高校の統合	開設準備室(H25.1~設置) 長浜統合新校設置懇話会(5回) 校名公募、決定	開設準備室 長浜統合新校設置懇話会(3回) 制服決定 長浜高校福祉科募集停止
3	能登川高校 全日制・定時制併置 総合単位制高校設置	改編準備委員会設置(校内) 教育課程等決定 リーフレット作成配付 夜間給食業者決定 夜間照明設備整備	単位制に改編(全日制3学級) 定時制課程を設置(募集昼間夜間各1学級) 改編移行期(定時制1年) 校舎改築工事
4	信楽高校 学科改編 全国募集	教育課程等決定 信楽高校地域支援協議会 全国募集受入れ準備 募集要項全国配付	総合学科に改編 全国募集枠推薦選抜導入 信楽高校地域支援協議会 改編移行期(1年総合学科)
5	長浜農業 湖南農業 八日市南高校 小学科改編	教育課程等決定	3つの小学科に改編 改編移行期
6	瀬田工業 彦根工業 八幡工業高校 小学科改編	教育課程等決定	3つに小学科に改編 改編移行期
7	瀬田工業高校 瀬田高校 統合	教育課程等決定	機械・電気科設置(募集1学級) 瀬田募集停止 統合移行期(瀬田2~4年)
8	長浜北星高校 総合学科に福祉系列を設置	教育課程等決定 介護福祉士養成校変更申請 校舎等改築工事	福祉系列設置1期生1年 文部科学大臣変更承認 校舎等改築工事
9	長浜北星高校定時制課程 学科改編	教育課程等決定	総合学科改編(募集1学級) 商業学科募集停止 改編移行期(商業2~4年)
10	彦根東高校定時制課程廃止		定時制募集停止(2~4年在籍)

	対象等	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
1	彦根翔西館	開設準備室(～H28.3) 彦根統合新校懇談会(4回) 校章、校歌、教育課程等決定 リーフレット作成配付 校舎改築工事 彦根西高校の備品移動	彦根翔西館高校開校(募集9学級) 開校式(知事、教育長他) 彦根西、彦根翔陽募集停止 統合移行期 校舎改築工事	統合移行期 彦根西、彦根翔陽閉校式(副知事、教育長) 彦根西高校校舎お別れ会 彦根西高校解体工事説明会 彦根西高校校舎解体、体育館耐震
2	(新校)長浜北	開設準備室(～H28.3) 長浜統合新校懇談会(3回) 校章、校歌、教育課程等決定 リーフレット作成配付 長浜高校校舎お別れ会 長浜高校解体工事説明会 長浜高校の備品移動	(新校)長浜北高校開校(募集8学級) 開校式(知事、教育長他) 長浜、長浜北募集停止 コミュニティ・スクール指定 統合移行期 長浜高校解体 新校舎工事	統合移行期 長浜、長浜北閉校式(知事、教育次長) 長浜高校校舎解体 新校舎工事 新校舎PR 移転
3	能登川	改編移行期(定時制 1,2 年) 校舎改築工事	改編移行期(定時制 1～3 年) 校舎改築工事	改編完成(定時制 1～4 年)
4	信楽	信楽高校地域支援協議会 改編移行期(1,2 年総合学科)	信楽高校地域支援協議会 改編完成	信楽高校地域支援協議会
5	農業	改編移行期	改編完成	
6	工業	改編移行期	改編完成	
7	瀬田工瀬田	統合移行期(瀬田 3～4 年)	統合移行期(瀬田 4 年) 瀬田高校閉校式	統合完成
8	長浜北星	福祉系列 1 期生 2 年 校舎等改築工事	福祉系列 1 期生卒業 高等養護学校移転、移行式 校舎等改築工事	校舎等改築工事
9	長北星定時制	改編移行期(商業 3～4 年)	改編移行期(商業 4 年)	改編完成
10	彦根東	定時制(3～4 年在籍)	定時制(4 年在籍)閉課程式	

5-4 県立高等学校研究指定一覧表(平成17年度～)

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2								
膳所	学力向上フロンティア																							
	学力向上P(発展)																							
	アクティブハイスクール支援事業(A: 知の世紀)																							
	国: スーパーサイエンスハイスクール										確かな自己実現支援事業		県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業		学びの変革推進		学びの変革発展							
堅田	アクティブハイスクール支援事業(F: 地域に根ざした)						普通科におけるキャリア教育推進事業				高年齢ふれあい		次代を担う生徒のキャリア教育推進事業											
東大津	人権教育研究指定校																							
	アクティブハイスクール支援事業(F: 地域に根ざした)			確かな自己実現支援事業										県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業		英語力向上(しが英語力育成P)		学びの変革推進		学びの変革発展				
北大津	豊かな体験活動推進	アクティブハイスクール支援事業(E: 得意分野)										普通科キャリア教育推進		国: 人権教育研究指定校				未来の担い手						
大津	アクティブハイスクール支援事業(H: 確かな学力)						国: 道徳教育総合支援事業(道徳教育の抜本的・充実に係る支援事業)										金融教育研究指定校		学びの変革推進		学びの変革発展			
石山	アクティブハイスクール支援事業(C: 感情を豊かに)				SSH連携校						確かな自己実現支援事業		県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業		学びの変革推進		学びの変革発展		未来の担い手					
瀬田工業	キャリア教育実践推進事業		国: 地域産業の担い手育成プロジェクト																					
			アクティブハイスクール支援事業(B: 勤労観・職業人)				職の担い手育成事業						確かな自己実現支援事業		国: 武道等指導充実		専門高校プロフェッショナル人材育成事業		高等学校産業人材育成プロジェクト		国: 環境のための地球学習観測プログラム推進事業		コミュニティスクール	

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		
大津商業	学力向上フロンティア																	
	学力向上P(産業)																	
	アクティブハイスクール支援事業(B:勤労観・職業人)										(E:得意分野)							
	金融教育推進事業			職の担い手育成事業						専門高校プロフェッショナル人材育成事業		高等学校産業人材育成プロジェクト						
大津清陵				アクティブハイスクール支援事業(D:学び直し)														
馬場分校				アクティブハイスクール支援事業(G:国際社会)														
大津清陵(通称)				アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)														
瀬田	アクティブハイスクール支援事業(D:学び直し)																	
草津東	アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)																	
											県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業		学びの変革推進		学びの変革発展			
											小中高系統的英語教育							
草津	キャリア教育実践推進事業																	
	国:高等学校におけるキャリア教育のあり方研究																	
	B:勤労観・職業人			アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)			確かな自己実現支援事業											
											しが英語力育成P		学びの変革推進		学びの変革発展			
玉川	アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)																	
	国:学力向上拠点形成事業																	
											県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業				国:学習改善調査研究事業			
															国:武道等指導充実		学びの変革発展	
守山	国:中高一貫教育改善充実研究																	
	国:学力向上フロンティア																	
	学力向上P(発展)																	
	アクティブハイスクール支援事業(A:知の世紀)																	
											SSH連携校							
											県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業				国:スーパーグローバルハイスクール			
														学びの変革推進		学びの変革発展		
										SSH連携校								
守山北	アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)																	
	国:高等学校におけるキャリア教育のあり方研究																	
											コミュニティスクール				未来の担い手			

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	
栗 東	アクティブハイスクール支援事業(C:感性を豊かに)															未来の担 い手	
											国:金融教育研究指定校						
										国:人権教育研究指定校							
野 洲	学力向上P (基礎)	アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)															未来の担 い手
											普通科キャリア教育		国:金融教育研究指定校				
湖南農業	アクティブハイスクール支援事業(B:勤労観・職業人)																
	デュアルシステム実践推進事業																
	職の担い手育成事業																
	しが環境教育リーディング事業																
	確かな自己実現支援事業										国:キャリア教育・就労支援等の充実事業						
										専門高校プロフェッショナル人材育成事業		高等学校産業人材育成プロジェクト					
国際情報	国:SEL HI 学力向上P (英語)	アクティブハイスクール支援事業(G:国際社会)															未来の担 い手 コミュニティ スクール
	金融教育推進事業										学びの変革推進					学びの変革発展	
水 口	アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)															未来の担 い手	
											確かな自己実現支援						
											普通科におけるキャリア教育推進事業						
											アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)						
											県立高等学校キャリア形成支援事業		次代を担う生徒のキャリア教育推進事業				
											しが英語力育成P 高齢者ふれあい						
										小中高系統的英語教育							
水口東	国:中高一貫教	アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)															未来の担 い手
	国:国語力向上モデル事業																
											国:人権教育研究指定校						
											国:確かな学力						
											確かな自己実現支援事業						
											県立高等学校学力向上・評価研究指定						
										国:スーパーグローバルハイスクールアソシエイト							
										学びの変革推進		学びの変革発展					
												国:武道等指導充実					

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		
石部	アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)																	
	国:高等学校におけるキャリア教育のあり方研究									県立高等学校キャリア形成支援事業			未来の担い手					
甲西	国:学力向上拠点形成事業			アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)						県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業			コミュニティスクール					
													未来の担い手					
甲南	高等養護学校	国:みんなの専門学校プロジェクト キャリア教育実践推進事業		B:勤労観・職業人		アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)			職の担い手育成事業			確かな自己実現支援事業			次代を担う生徒のキャリア教育推進事業		高等学校産業人材育成プロジェクト	
信楽	アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)							アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)			確かな自己実現支援			高等学校産業人材育成プロジェクト				
彦根東	学力向上P(発展)	国:スーパーサイエンスハイスクール																
	アクティブハイスクール支援事業(A:知の世紀)				確かな自己実現支援事業			県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業			学びの変革推進		学びの変革発展					
彦根東(定時)	国:交通安全教	アクティブハイスクール支援事業(D:学び直し)																
河瀬	国:中高一貫教	アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)		アクティブハイスクール支援事業(G:国際社会)			国:確かな学力の育成に係る実践的調査研究			確かな自己実現支援事業			県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業		しが英語力育成P		学びの変革推進	学びの変革発展
															小中高系統的英語教育	SSH連携校	コミュニティスクール	高大接続ICT

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
八幡	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)</p> <p>国:豊かな体験活動</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>国:外国語能力強化地域形成事業</p> <p>アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">未来の担い手</p>															
八日市	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>国:人権教育研究指定校</p> <p>アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>英語力向上</p> <p>県立高等学校学力向上・評価研究指定</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">学びの変革推進 学びの変革発展</p>															
能登川	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)</p> <p>国:学力向上拠点形成事業</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>国:武道等指導充実</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">コミュニティースクール 未来の担い手</p>															
愛知	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>国:学力向上フロンティア</p> <p>学力向上P(基礎)</p> <p>アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>職の担い手育成事業</p> <p>普通科におけるキャリア教育推進事業</p> <p>国:個々の才能を伸ばす特別支援教育に関する研究開発</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">コミュニティースクール</p>															
八日市南	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>アクティブハイスクール支援事業(B:勤労観・職業人)</p> <p>デュアルシステム実践推進事業</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>職の担い手育成事業</p> <p>確かな自己実現支援事業</p> <p>しが環境教育リーディング事業</p> <p>県立高等学校キャリア形成支援事業</p> <p>専門高校プロフェッショナル人材育成事業</p> <p>高齢者ふれあい</p> <p>高等学校産業人材育成プロジェクト</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">コミュニティースクール</p>															
彦根工業	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>体力向上実践</p> <p>国:IT人材育成プロジェクト</p> <p>国:地域産業の担い手育成プロジェクト</p> <p>アクティブハイスクール支援事業(B:勤労観・職業人)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>職の担い手育成事業</p> <p>確かな自己実現支援事業</p> <p>県立高等学校キャリア形成支援事業</p> <p>専門高校プロフェッショナル人材育成事業</p> <p>高等学校産業人材育成プロジェクト</p> <p>国:人権教育研究指定校</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">コミュニティースクール</p>															

学校名	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
長 浜	高等養護学校	アクティブハイスクール支援事業(F:地域に根ざした)														
		国:豊かな体験活動推進事業								国:外国語能力強化	英語力向上(しが英語力育成P)					
長浜北	国:学力調査研 学力向上P(発展)	アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)														
		国:学力向上拠点形成事業								国:外国語能力強化	英語力向上(しが英語力育成P)					
(新校)長浜北											学びの変革推進	学びの変革発展				
											小中高系統的英語教育					
											次代を担う生徒のキャリア教育推進事業		未来の担い手			
											コミュニティースクール					
虎 姫	国:学力向上フロンティア 学力向上P(発展)	アクティブハイスクール支援事業(A:知の世紀)														
		中高一貫教育研究指定校												確かな自己実現支援事業		
		SSH連携校		国:スーパーサイエンスハイスクール												
												県立高等学校学力向上・評価研究指定校事業				
												県立高等学校キャリア形成支援事業				
												国際バカロレアの導入に向けた調査・研究		バカロレア		
											次代を担う生徒のキャリア教育推進事業		未来の担い手			
											学びの変革推進		学びの変革発展			
伊 香	アクティブハイスクール支援事業(E:得意分野)															
		国:豊かな体験活動推進事業												普通科におけるキャリア教育推進事業		
											コミュニティースクール				未来の担い手	
伊 吹	アクティブハイスクール支援事業(H:確かな学力)															
		国:人権教育研究指定校												国:武道等指導充実		未来の担い手

5-5 部活動の状況

「2024滋賀国スポ 強化拠点校」 (競技別)

競技名		H29年度指定	H30年度指定	H31年度指定	R2年度指定	指定数
陸上競技	男女	草津東高校				3
		大津商業高校				
		彦根翔西館高校				
水泳	競泳	男女	草津東高校			2
			比叡山高校			
	水球	男子	長浜北星高校			2
女子			大津高校			
サッカー	男子	草津東高校				3
	女子	野洲高校				
スキー	男女	八幡商業高校			高島高校	1
テニス	男子	光泉高校				2
	女子			栗東高校		
ボート	男子	瀬田工業高校			高島高校	4
	女子	大津高校				
ホッケー	男子	伊吹高校				2
ボクシング	男女	伊吹高校				1
バレーボール	男子			能登川高校		
				近江高校		
	女子			比叡山高校		
体操	男子	栗東高校				2
	女子			近江兄弟社高校		
バスケットボール	男子	光泉高校	八幡工業高校			4
	女子	滋賀短大附属高校				
レスリング	男女	草津東高校				2
セーリング	男女	日野高校				1
ウェイトリフティング	男女	膳所高校				
ハンドボール	男子	安曇川高校				2
		堅田高校				
	女子	近江兄弟社高校				
自転車競技	男子		彦根翔西館高校			4
	女子	立命館守山高校				
ソフトテニス	男子		彦根翔西館高校			1
	女子			瀬田工業高校		
卓球	男子		長浜北高校			4
			立命館守山高校			
	女子		長浜北高校			
相撲	男子		甲西高校			4
				近江兄弟社高校		
柔道	男子			近江高校		5
			比叡山高校			
	女子		伊香高校			
ソフトボール	男子	栗東高校				3
	女子		水口高校			
フェンシング	男女	大津商業高校				2
バドミントン	男子	玉川高校	石山高校			4
	女子		比叡山高校	彦根翔西館高校		
弓道	男子		滋賀短大附属高校	能登川高校		3
	女子		長浜北高校			
ライフル射撃	男女		大津高校			1
剣道	男子	水口高校				4
	女子	草津東高校			比叡山高校	
ラグビー	男子	草津東高校				3
	女子	八幡工業高校			石山高校	
カヌー	男女	大津高校				3
アーチェリー	男女	八幡商業高校				2
なぎなた	女子	八日市南高校				
アイスホッケー	男子	草津東高校				1
		大津商業高校			彦根翔西館高校	1
		光泉高校				1
		35	24	21		81

全国高等学校総合文化祭参加一覧表

No.1

	第39回 平成27年度	第40回 平成28年度	第41回 平成29年度	第42回 平成30年度	第43回 令和元年度
期日	7/28～8/1	7/30～8/3	7/31～8/4	8/7～8/11	7/27～8/1
開催地	滋賀県	広島県	宮城県	長野県	佐賀県
開会行事	県代表 (滋賀絵文実行委員) 大津	県代表 (美術・工芸部門) 栗東	県代表 (写真部門) 八日市	県代表 (書道部門) 草津	県代表 (美術・工芸部門) 栗東
バレード	雨天中止	立命館守山 25名	立命館守山 25名	立命館守山 25名	立命館守山 25名
合唱	13校合同 (高島・安曇川・膳所・石山・水口東・八日市・日野・愛知・能登川・比叡山・近江兄弟社・幸福の科学学園関西・MIHO美学院) 145名	10校合同 (高島・安曇川・膳所・水口東・八日市・日野・能登川・比叡山・近江兄弟社・MIHO美学院) 66名	10校合同 (安曇川・膳所・石山・水口東・八日市・日野・能登川・比叡山・近江兄弟社・MIHO美学院・幸福の科学学園) 62名	10校合同 (安曇川・膳所・石山・水口東・日野・八日市・能登川・近江兄弟社・MIHO美学院・比叡山) 74名	12校合同 (安曇川・膳所・石山・水口東・日野・八日市・能登川・愛知・比叡山・光泉・幸福の科学関西・MIHO美学院) 78名
吹奏楽	23校合同 (八日市・河瀬・彦根東・愛知・彦根西・米原・水口東・石部・野洲・守山・立命館守山・国際情報・高島・安曇川・大津・草津東・玉川・膳所・瀬田工業・北大津・比叡山・滋賀短大附属・幸福の科学学園関西) 546名	膳所 97名	河瀬 93名	甲西 80名	2校合同 (守山北・石部) 43名
日本音楽	大津・伊吹・彦根東・長浜北星・近江兄弟社 44名	伊吹 6名	大津 23名	彦根東 15名	伊吹 6名
演劇	水口東・甲西・守山 33名	甲西 (生徒講評委員) 1名			
マーチングバンド・バントワリンド	大津商業・立命館守山 59名	立命館守山 22名	立命館守山 15名	立命館守山 10名	立命館守山 14名

全国高等学校総合文化祭参加一覧表

No.2

	第39回 平成27年度	第40回 平成28年度	第41回 平成29年度	第42回 平成30年度	第43回 令和元年度
期日	7/28～8/1	7/30～8/3	7/31～8/4	8/7～8/11	7/27～8/1
美術・工芸	東大津・栗東・信楽・玉川・近江兄弟社 7名	東大津・栗東・彦根東・長浜・玉川・近江兄弟社 10名	東大津・彦根東・膳所・玉川・信楽・立命館守山 6名	栗東・八日市南・膳所・彦根東・信楽 7名	東大津・水口東・栗東・河瀬・立命館守山 7名
書道	八日市・大津・膳所・東大津 4名	伊吹・八日市・膳所・伊吹・草津・大津商業 4名	膳所・伊吹・草津・甲西 4名	大津商業・石山・草津・甲西 4名	石山・東大津・大津商業・比叡山 4名
写真	堅田・膳所・石山・八幡 5名	堅田・膳所・石山・水口東・八幡商業 14名	膳所・石山・八日市・瀬田工業・八幡工業 16名	膳所・石山・八日市・水口東・瀬田工業 18名	膳所・石山・水口東・八幡・八日市 23名
囲碁	彦根東 14名	比叡山・彦根東 5名	膳所・比叡山・彦根東 5名	膳所・彦根東 5名	彦根東 5名
将棋	湖南農業・玉川・立命館守山・河瀬 11名	瀬田工業・光泉・立命館守山・玉川 9名	光泉・玉川・立命館守山・虎姫・湖南農業 10名	立命館守山・玉川・彦根東・虎姫・光泉 10名	立命館守山・光泉・湖南農業・彦根東・綾羽・草津 10名
放送	光泉・草津東・東大津・比叡山・守山 14名	光泉・草津東・河瀬 16名	光泉・草津東・東大津・守山 18名	光泉・河瀬・膳所・東大津・草津東 22名	東大津・草津東・河瀬・光泉・比叡山 18名
新聞	彦根東・甲西・八幡工業・石山 8名	彦根東・甲西・八幡工業・石山 8名	彦根東・虎姫・八幡工業・石山・甲西・八日市 15名	彦根東・虎姫・石山・大津・八幡工業・八日市・甲西 14名	彦根東・虎姫・石山・東大津・八幡工業・八日市・甲西 14名
自然科学	膳所・東大津・河瀬・米原・草津東・彦根東・堅田・虎姫・立命館守山・八幡工業・八日市・日野 24名	膳所・河瀬・米原・彦根東・虎姫 10名	膳所・河瀬・米原・彦根東 20名	膳所・彦根東・米原・虎姫 22名	彦根東・米原・虎姫 19名
かるた	膳所・石山・水口東・比叡山 8名	膳所 8名	膳所・石山・大津清陵・水口東 8名	膳所・大津清陵・幸福の科学学園 8名	膳所・石山・東大津・水口東 8名

全国高等学校総合文化祭参加一覧表

No.3

	第39回 平成27年度	第40回 平成28年度	第41回 平成29年度	第42回 平成30年度	第43回 令和元年度
期日	7/28～8/1	7/30～8/3	7/31～8/4	8/7～8/11	7/27～8/1
器楽・管弦楽	八幡 12名	八幡 17名	八幡 26名	八幡 25名	八幡 17名
吟詠剣詩舞	守山・河瀬・水口東・東大津・大津・長浜北・長浜・堅田・大津商業 23名	3校合同（守山・堅田・大津商業） 5名	2校合同（堅田・大津商業） 2名		
郷土芸能	水口・MIHO美学院 20名	MIHO美学院 13名	MIHO美学院 18名	MIHO美学院 13名	MIHO美学院 11名
弁論	膳所・立命館守山・盲学校 3名	膳所・MIHO美学院 2名	膳所・MIHO美学院 2名	膳所・湖南農業 2名	膳所・MIHO美学院 2名
文芸	彦根東・膳所 5名	彦根東・膳所 5名	彦根東・膳所 5名	彦根東・水口東 5名	彦根東・水口東 5名

5-6 滋賀県立高等学校再編計画に基づく取組状況調査結果

(令和2年1月～3月実施、全県立高等学校長対象)

滋賀県立高等学校再編基本計画 (P6)

社会の進展、地域や産業界の要請などを踏まえつつ、生徒自らの興味・関心や進路希望等に応じて、学びたい教科や科目等を学習し、将来の生活や職業に役立つ知識・技能を積極的に学ぶことができるよう、全ての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた魅力ある学校づくりに取り組めます。

【概要】

○92%の学校が、魅力と活力ある学校づくりが進んでいると回答

○「地域との連携」が進んだと回答している学校が最も多く、次いで「授業の工夫」、「大学や企業との連携」と回答した学校が多い。

○農業学科、工業学科、商業学科では全ての学校が「地域との連携」が進んだと回答

○普通科では、「授業の工夫」が進んだと回答した学校が最も多い。

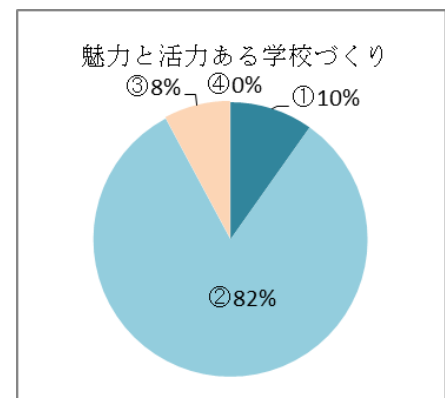
○情報発信については、学校説明会や中学校訪問、ホームページにおける発信はできているが、新聞、テレビ等での情報発信ができている学校は少ない

(1) 魅力と活力ある学校づくりの取組について

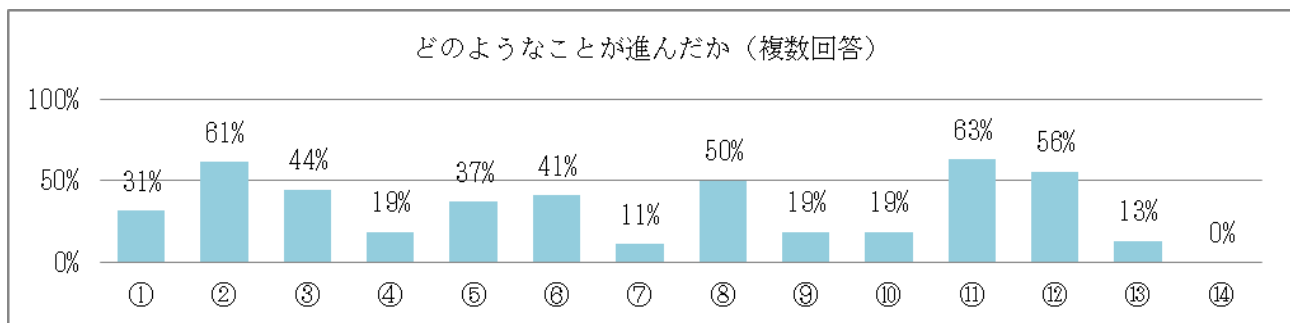
Q. 魅力と活力ある学校づくりは進んでいますか。

① 大変進んでいる ② まあ進んでいる ③ あまり進んでいない ④ 全く進んでいない

○ 高校再編計画策定以降の取組として、92% (①10%、②82%) の学校で、魅力と活力ある学校づくりが進んでいると回答している。



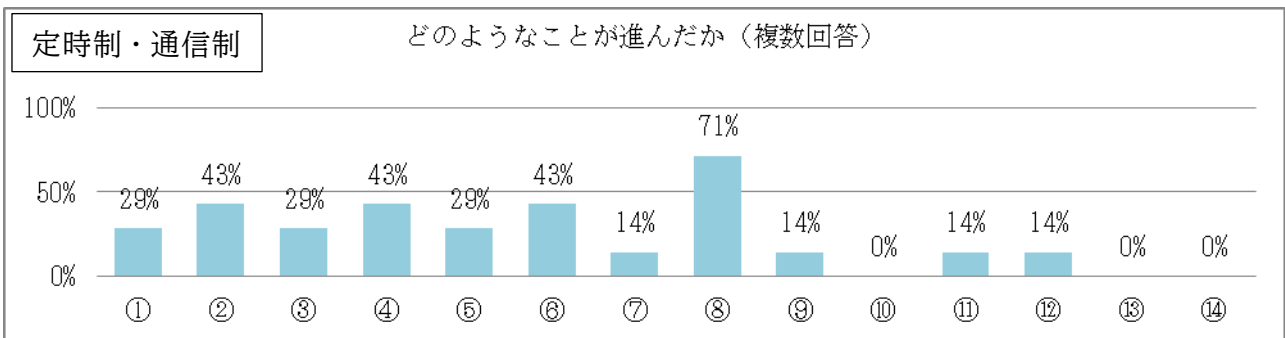
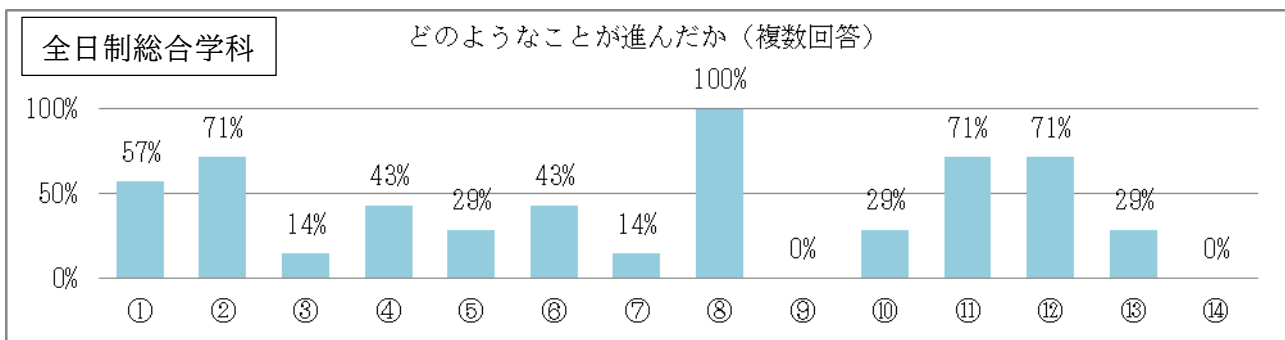
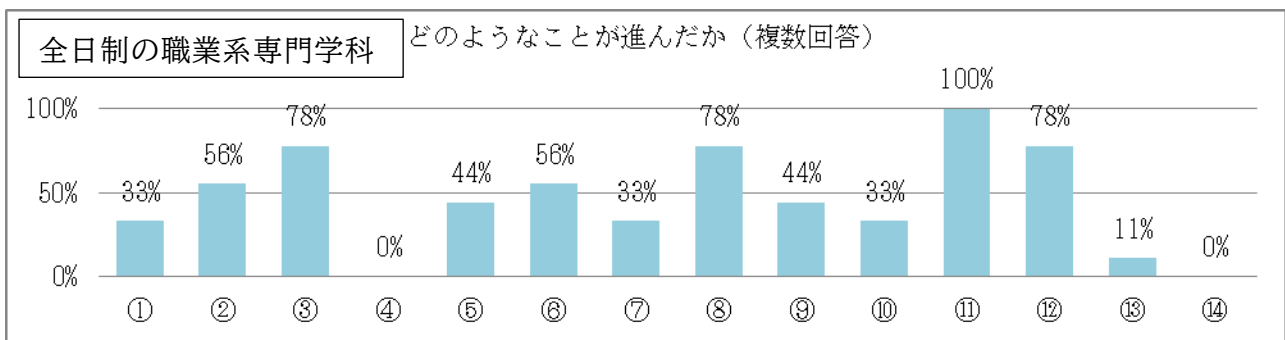
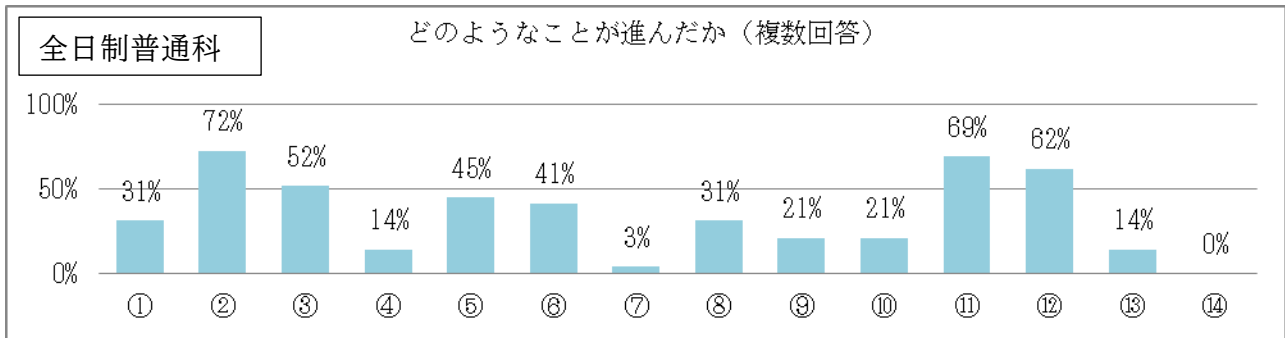
Q. 魅力と活力ある学校づくりで、どのようなことが進みましたか。(複数回答可)



- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 多様な教科・科目 | ⑧ キャリア教育 |
| ② 授業の工夫 (習熟度別授業、少人数授業等) | ⑨ ボランティア活動 |
| ③ 進路指導 (進学・就職) における実績 | ⑩ 施設設備の充実 |
| ④ コース、単位制、総合学科等の学びのシステム | ⑪ 地域との連携 |
| ⑤ 部活動の取組 | ⑫ 大学や企業との連携 |
| ⑥ 学校行事の工夫 | ⑬ その他 () |
| ⑦ 資格取得や検定合格 | ⑭ なし |

- ⑪地域との連携が進んだと回答した学校が63%と最も多かった。
- ②授業の工夫（習熟度別授業、少人数授業等）（61%）、⑫大学や企業との連携（56%）、⑧キャリア教育（50%）が進んだという回答も多い。

※課程・学科別の状況



- 全日制の職業系専門学科では、⑪地域との連携が進んだと回答した学校が100%であった。
- 全日制の総合学科では、⑧キャリア教育が進んだと回答した学校が100%であった。

(2) 魅力と活力ある学校づくりの例

【地域との連携(63%)】

○八日市南高校(農業学科)

農業科：農業ふれあいスクール、シーツサミット、しが動物フェスティバル
地元の祭り等への参加

食品科：政所茶プロジェクト、八南レストラン、小学生チャレンジネイチャーキッズ
ここ滋賀やマーガレットステーションにおける食品加工品等の販売

花緑デザイン科：小学校環境ふれあいスクール、愛知川河畔林の会、JR 近江八幡駅花壇整備、水源の森整備、グラウンド芝生化

地域等との連携を強めたことにより、地域からの評価も高まり、そのことが生徒の自信を深め、自尊感情や有用感を高くすることにつながっている。

○愛知高校(普通科)

愛荘町商工会と締結している連携協定に基づいたプレジョブシップ(就業体験、就業前能力育成事業)は、愛荘町だけでなく広く地元企業の協力(R1年度は51事業所の協力)を得られるようになった。事業所からの評価も概ね良好であり、厳しい指摘も次年度の取組に効果的に活用してきた。本校生徒の就職に向けての意識の高揚に大変効果的な取組となっている。

○甲南高校(総合学科)

生物と環境系列：野菜苗販売、ローストチキン製造販売、先進農業者の経営見学
森林科学校外学習、毎週3回の農産物販売等

バイオとかがく系列：小学校出前実験、柚川地域交流、ササユリの里づくり、
親子ものづくり教室、製薬会社見学等

食と健康系列：SA、PAや給食センターのメニュー開発等

福祉と保育系列：保育実習、障害者のスクールボランティア等

教室で座って受ける授業だけでなく、実験や実習を多く取り入れ、地域に出て人と関わることから学ぶ取組を大切にしている。中学校で不登校を経験した生徒もいるが、落ち着いて学習できる居場所があり、先生や地域から自分を認めてもらえる活動が多くあるため、休まず登校できている。

○日野高校(総合学科)

・「日野高カフェ@Home」の取組 → 生徒の感想は資料1-11

課題研究「商品開発販売実習」の授業の一環として、近江鉄道日野駅交流施設を使用して、月1回生徒がカフェを経営。試行錯誤、失敗と成功を繰り返しながらカフェ経営に取組むことで、企画力、コミュニケーション能力、団結力等が高まり、また、地元住民等に喜んでもらうことで達成感や社会・地域貢献の意識ができ大きく成長している。

・町主催の意見交換行事への高校生参加

町次期総合計画「私たちのまちづくり提案」に高校生が参加し、意見を表明した。また、「近江鉄道で地域を元気にするフォーラム」に生徒代表がパネリストとして出席し、積極的には意見表明した。また、日野町青少年意見発表大会や福祉の集いに参加するとともに、司会や運営として協力している。日野町にある高校として、町の現状や将来を考えた意見を考え、若者としての行動に移すことができている。しかし、まだまだ、一部の生徒の参加行動であり、学校全体でのまちづくり参画の意識を高めていくことが必要である。

・地域住民との連携協力

生徒会地域清掃行事を毎年実施し、地元自治会と協力して、学校周辺の清掃活動に取り組んでいる。「日野祭」の神輿渡御に運動部員が毎年協力したり、「蒲生氏郷まつり」の武者・侍女行列に高校生が衣装を着て参加するなど、伝統行事の継承にも協力している。少子高齢化で伝統行事等への参加者不足のなか、高校生が協力することで、行事が安定して実施されている。また、

高校生も伝統行事に実際に参加することで、地元文化・歴史の理解と次代の担い手としての意識も芽生えている。

【授業の工夫(習熟度別授業、少人数授業等)(61%)】

○玉川高校(普通科)

近年の継続した研究指定校事業の取り組みの中で、特に授業改善に力を入れてきた。教材開発や教材提示の仕方についての探究、アクティブラーニングの活用、ICT の利活用、評価方法の実践研究の他、研究授業や研修会を通じた教員の資質向上の取組等を行った。これら授業の質的向上を目指す取組の中で、意欲的に授業に参加する生徒、理解を深める生徒が増えた。

○河瀬高校(普通科・中高一貫)

平成 29 年度から同窓会の力添えで ICT 機器を順次整備している。プロジェクター・スクリーン・書画カメラを中・高の全教室等に設置し、教材呈示用のノートパソコンを全教職員に配布したりデジタル教科書を購入したりしている。また、タブレット端末も複数クラス分準備して授業に活用している。自校の教員・生徒ともに高く評価している。

【大学や企業との連携(56%)】

○大津商業高校(商業学科)

商業科課題研究(ビジネスインキュベーション)において、高齢者を対象とした旅行の企画、運営や本県の特産物を活用した商品開発および販売実習を行っている。

高齢者を対象とした旅行「高校生と行く、おもいやり旅行」は、(株)どこでも介護、(株)JTBTとの連携した企画となっている。新聞などでも取り上げられており、本校の特色ある商業教育を代表するものとなっている。また、本県の特産物を活用した商品開発は、R1 年度は、信楽の(株)山本園の協力を得て、朝宮茶を使ったスイーツを作り、守山市主催の「ココカラフェス」、「ランチ大津京オープンイベント」、産業教育フェア新潟大会などで販売実習を行った。どの実習も商品開発の背景などの説明をし、積極的に地元をアピールすることなどを通して、生徒の地元への愛着心を醸成するよい機会となった。

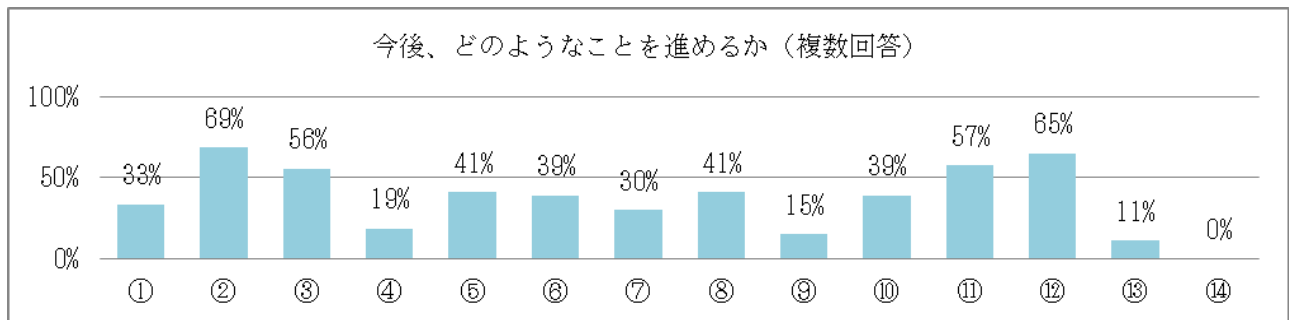
○八幡工業高校(工業学科)

近隣の大学や事業所と連携を進め、時代の変化に即応したものづくり教育を実施し、社会で必要な職業人を育成している。2年生の生徒は、協力企業等 74 社で5日間のインターンシップを行い、働く意義や社会的役割を体験している。連携を図っている龍谷大学をはじめ、立命館大学などへも合格している。

(3) 今後の魅力と活力ある学校づくりについて

Q. 今後、魅力と活力ある学校づくりで、どのようなことを進めますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 多様な教科・科目 | ⑧ キャリア教育 |
| ② 授業の工夫(習熟度別授業、少人数授業等) | ⑨ ボランティア活動 |
| ③ 進路指導(進学・就職)における実績 | ⑩ 施設設備の充実 |
| ④ コース、単位制、総合学科等の学びのシステム | ⑪ 地域との連携 |
| ⑤ 部活動の取組 | ⑫ 大学や企業との連携 |
| ⑥ 学校行事の工夫 | ⑬ その他() |
| ⑦ 資格取得や検定合格 | ⑭ なし |

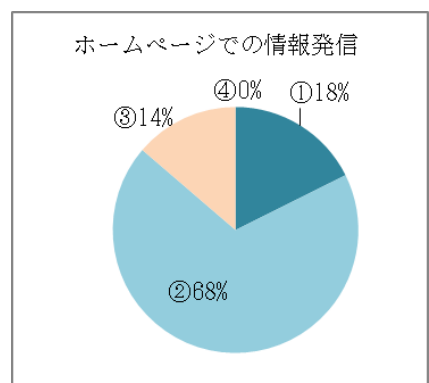
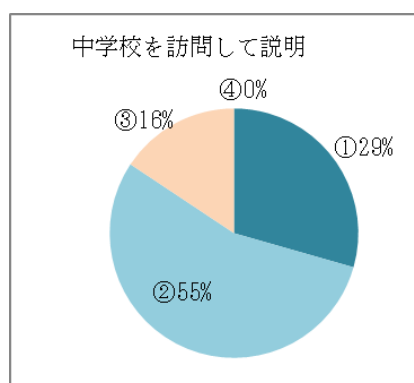
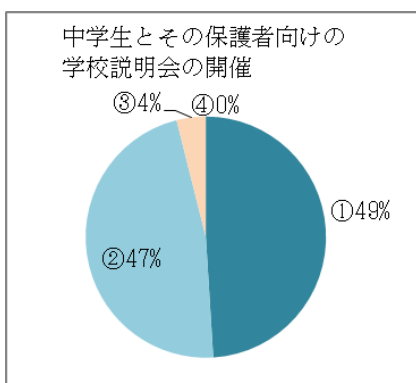


○ ②授業の工夫(69%)、⑫大学や企業との連携(65%)、⑪地域との連携(57%)、③進路指導(56%)を回答している学校が多い。

(4) 魅力と活力ある学校づくりの情報発信について

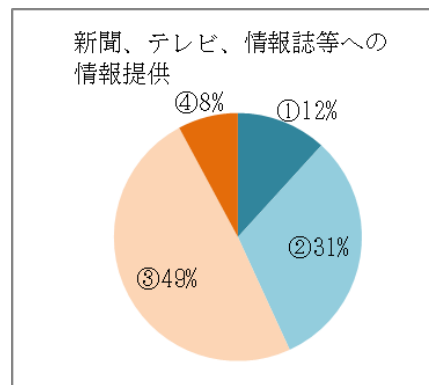
Q. 魅力と活力ある学校づくりの県民や中学校への情報発信はどうか。

- ①十分できている ②まあできている ③あまりできていない ④全くできていない



○ 高校再編計画策定以降の取組として、学校で学校説明会(96%)、中学校訪問(84%)、ホームページでの情報発信(86%)はできていると回答している学校が多い。

△ 新聞、テレビ等への情報提供(43%)による情報発信ができていない学校は半数以下となっている。

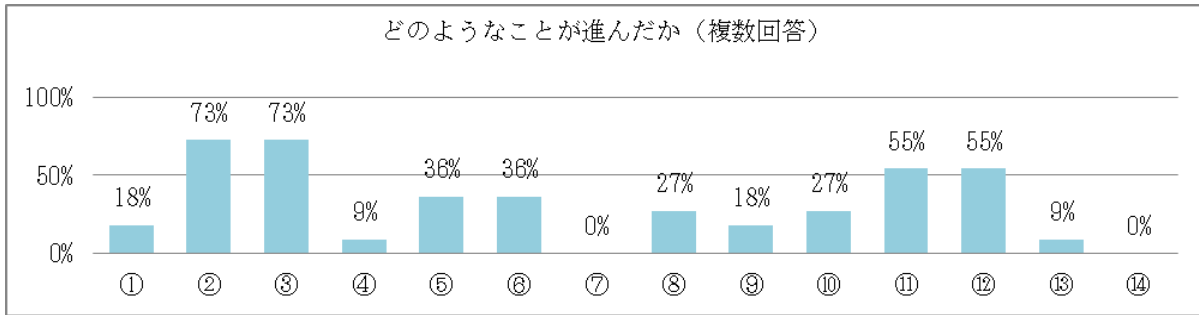


※参考データ

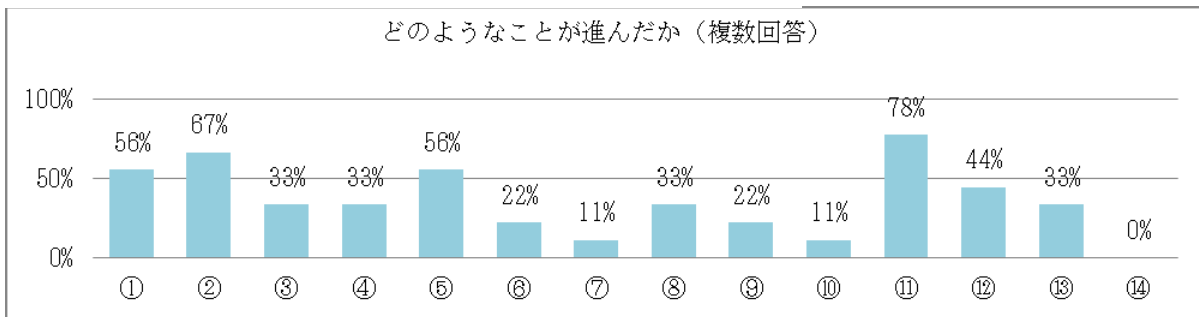
Q. 魅力と活力ある学校づくりで、どのようなことが進みましたか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ① 多様な教科・科目 | ⑧ キャリア教育 |
| ② 授業の工夫(習熟度別授業、少人数授業等) | ⑨ ボランティア活動 |
| ③ 進路指導(進学・就職)における実績 | ⑩ 施設設備の充実 |
| ④ コース、単位制、総合学科等の学びのシステム | ⑪ 地域との連携 |
| ⑤ 部活動の取組 | ⑫ 大学や企業との連携 |
| ⑥ 学校行事の工夫 | ⑬ その他() |
| ⑦ 資格取得や検定合格 | ⑭ なし |

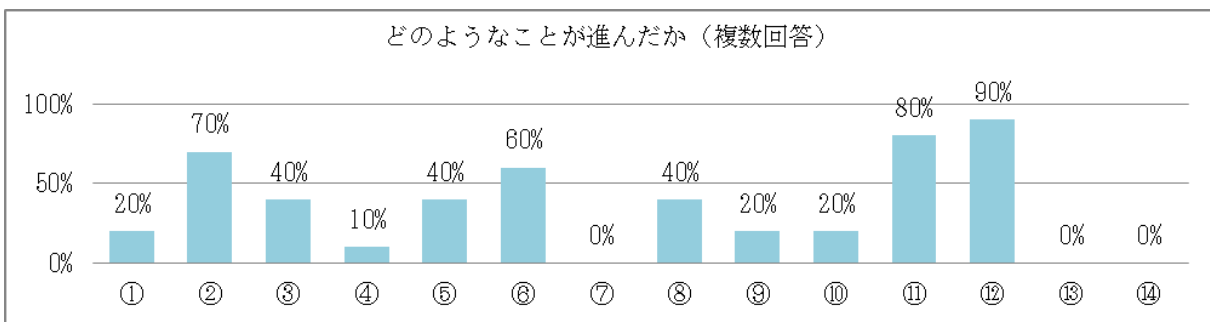
1. 普通科高等学校(卒業生の10%以上が現役で国公立大学へ進学)



2. 普通科高等学校(卒業生の20%以上が就職)



3. 1、2以外の普通科高等学校



4. 1学年の学級規模が3学級あるいは4学級の普通科高等学校

